

# 杉の下近辺にもどる会 ニュース 第16号

発行：杉の下近辺にもどる会，発行日：2014年7月，編集協力：首都大学東京チーム

4月27日(日)第18回勉強会を開催  
第18回勉強会で検討した内容は次のとおりです。

## 1. 街路灯・ゴミ置き場など共有設備の検討

第17回(3/2)に引き続き、1/200模型を使いながら、街路灯、ゴミ置き場の配置について検討しました。

- 牧自治会と相談してみたところ、ゴミ置き場は移転住宅地の近くにもあり、現状には余裕もあるようだ。しかしゴミ置き場を自分たちで用意する、既存のお宅に負担をかけない、という話なので設置申請を進められるのではないかと。
- 防犯灯についても概ね内諾を得た。防犯灯は自治会としてもあった方がいいという感じだった。設置申請するとしたら、ゴミ置き場といっしょに市役所へ申請すると一度で済みそう。
- 模型を見て、L型擁壁は敷地境界がはっきりするメリットもありますね。住宅地に隣接する土地が盛土となってもL型擁壁がいいです。

## 2. 住宅地設備(ゴミ置き場、防犯灯等)の検討

K邸について、自力で作成された1/50模型を拝見させていただきました。首都大の1/200よりも迫力があり、平面的な間取りに加えて、高さ方向の検討に有効であること等話題になりました。合わせて、防集事業の進捗について意見が出され、市役所への確認事項を整理しました。

- 1/50で設計中の自宅模型をつくってみた。このスケールだと窓の高さ、大きさ、位置などの検討にやりやすかった。また階段と廊下間の空間を物置にできないか、など、立体にすることでわかったこともありました。



ゴミ置き場と防犯灯について検討

○現在の設計では、建物の平面的な形は正方形に近いですが、正方形ですと壁の量が最小となり、工事費も凹凸が多い場合よりも低減できる場合が多いです。

○建設工事費について、とびや大工さんの人件費が上がってます。複数まとまると工務店さんの請負価格も一般的には下がってきます。また見積もり先に関東の工務店を連れてくることも可能です。気仙沼で賃貸アパート住み込みとなるのでしっかり仕事をしてくれます。

○首都大の学生の勉強にもなります。現段階で詳細な住宅設計に至っていなくても、ラフな間取りを教えてください、そこから模型を作成してみることも可能です。つくってみませんか

## 3. 防潮堤と低地部の土地利用について

- 防潮堤は3月に地元説明会があり、お伊勢浜のゾーンも高さ・位置が示されました。近いうちに防潮堤区域にかかる世帯には、代替地の提案があるはず。作業場として建坪25坪～30坪位は欲しい。移転住宅地の100坪では作業小屋を建てることは難しいと感じています。

## 【勉強会后、市役所に事業進捗の確認をしました】

Q: 確認申請に使える各戸の敷地図面は？

A: 4月の住宅地工事図面以上の図面は現段階ではないです。この図面で設計を進めていただいて構いません。

Q: 隣地の盛土によって擁壁の工法は変わってくる？

A: 隣接土地に少々盛土を行います。擁壁は残ります。

Q: 地主さんとの契約進捗は？契約済み？

A: 2人の地主のうち1人は契約済み、もう一人は交渉中。



作成された1/50住宅模型で意見交換

次回は 4/27(日)13時半から 階上公民館(集合)

登米沢防集地区の視察と交流会を予定しています。